

**本質的な問い**

地域の活性化のために私たちにできることは何だろう

**単元名**

「南中ソーラン節」の伝統をつないで、地域を元気にしよう。

**児童生徒の実態**

- 伝統であるソーランを感じとして今まで先輩達が続けてきたこととして取り組んではいるものの、取り組む意味や目的を深く考えている生徒が少ない。
- 主体的に自ら考え表現し創造することに課題がある。

**目標とする具体的な姿（育成を目指す資質・能力）**

- 課題解決に必要な知識を獲得し、深い理解に向けた探究のサイクルの手順を身に付けることができる。（知識・技能）
- 他者の意見や課題解決の方向性から必要な情報を整理分析したり取捨選択して考察したりして自分の考えを表現することができる。（思考力・判断力・表現力）
- 目標をもって自分の意思で課題の解決に向けて「問い合わせ」を繰り返しながら粘り強く取り組むことができる。（主体性）

**単元を貫く問い**

「南中ソーラン節」の伝統をつなぐために、自分たちに何ができるのだろう。

【探究課題 学校の伝統の継承と地域の活性化の取組】

**【第3次】(20時間)**

課題 地域を元気にする阿賀中ならではの作戦は、本当にそれでいいの？

介護福祉施設

阿賀小

保育所・幼稚園

地域の方からの評価

## 個別の問い合わせ

- 作戦は、地域の人たちにふさわしいものだろうか。
- 自分たちの元気を伝えるために、もっとできる工夫は何だろう。

仲間（別グループからの評価）

阿賀小6年生

(しきけ)  
物事を表現し発信するときには、相手意識が重要であることに気付かせる。  
地域の特徴（カタマリ）の活用をする。

呉高校吹奏楽部

**【第2次】(14時間)**

課題 地域を元気にする阿賀中ならではの作戦を考え、実行しよう。

呉市HP

## 個別の問い合わせ

- 「伝統を継承する」ためには、何をすればよいのだろう。
- 地域の活性化とは、地域の人たちがどのようになることだろう。そのために、自分たちにしかできないことは何だろう。

先輩達の成果物

公民館の講座

保護者・地域の方々の思い

(しきけ)

自分たちが取り組む「伝統の継承」とは、「南中ソーラン節」ではなく、それを通じて感じ取れる、中学生の元気であることに気付かせる。

卒業生

青少年育成ボランティア団体  
YAMATOくれひとの方々

自分や仲間の感想

見直しポイント

**【第1次】(16時間)**

課題 「南中ソーラン節」を体育大会で披露しよう。

## 個別の問い合わせ

- 「南中ソーラン節」にどんな願いや歴史があるのだろう。
- 阿賀中の「南中ソーラン節」は地域の人たちにとってどのような存在なのだろう。

(しきけ)

阿賀中の生徒が、体育大会で披露する「南中ソーラン節」が地域の方々の誇りであり元気の源であり大切にしているものであることに気付かせる。

**探究的な学習の過程に沿った単元構成**

- 単元を通して、資質・能力を育成する「探究課題」等を設定しているか
  - 解決の道筋がすぐに明らかになる課題や、正解が一つしか存在しないような課題になっていないか。
  - 児童生徒が日常生活や社会に目を向け、解決したいと思える課題となっているか。
- 児童生徒の思考を想定し、効果的な過程になっているか
  - 活動をこなすだけになっていないか。
  - 児童生徒から問い合わせを生み出すしきけがあるか。
  - 学習したことを表現する場を設定しているか。
- サイクルとサイクルのつながりがスムーズとなっているか
  - 第1次だけで構成していないか。
  - 第1次のまとめと第2次の課題設定がつながっているか。

## 単元名

「南中ソーラン節」の伝統をつなごう  
～地域の活性化のために  
私たちにできることは何だろう～

令和3年12月8日(水) 6校時  
男子16人 女子14人 計30人  
1年2組教室

## 本単元で育成する資質・能力

知識・技能／思考力・判断力・表現力／自らへの自信／  
感謝・貢献・思いやり

## 1 単元について

## 単元観

体育大会でソーランを披露するようになって、今年で20年になる。毎年、1学年から3学年まで、各学年のレベルに見合った「ソーラン」を披露してきた。また、年度終わりには阿賀小学校に行き、「南中ソーラン節」を小学生に指導することが伝統である。

しかし、昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、体育大会で披露することができなかった。今年は、無観客ではあるが実施することができ、生徒は喜んでいた。そして、地域の方、保護者の方から「ソーラン」の動画が見たいという要望もあった。また、法被に使えないかと古い着物を寄付してくださる地域の方もいらっしゃった。

このように、阿賀中の「ソーラン」を、保護者や地域の方が楽しみ、期待していることを感じている生徒に対し、この活動を地域の活性化につなげるために生徒自らが自分たちにできることを創造していく探究的な取組にすることで、物事の必要性を考えながら、仲間と共に主体的に自分たちにできることを考え、実践する力を養うことができると考える。

## 生徒観

6月の生活アンケートでは「阿賀中の生徒としての誇りと自覚を持って生活している。」という問い合わせに肯定的に回答した生徒は91%であった。一方、「コロナ禍でもどのようなボランティア活動ができるか考えている。」という問い合わせに肯定的に回答した生徒は58%だった。また、無観客で実施した体育大会後の振り返りでは「協力できた。」「一生懸命できた。」「頑張った。」等の内容の記述が多く、「伝統を受けつぐ」との記述はみられなかった。さらに、本来の目的である、家族や地域を元気にするという「ソーラン」を踊ることの本質にふれた感想もみられなかった。

のことから、今まで先輩達が続けてきたこととして取り組んではいるものの、取り組む意味や目的を深く考えている生徒が少ないと見える。言われたことができたという達成感を、阿賀中の生徒としての誇りとし、主体的に自ら考え表現し創造しようとしている生徒は少ないことが考えられる。

## 指導のポイント

① 本校に根付き、やらなければならないこととして取り組んできた「ソーラン」を通して、伝統を守ることにどのような意味があるのか、なぜ、伝統を守らなければならないのかを、あらためて考えさせる。そして、実は「伝統」として自分たちが「ソーラン」をつなぐことが地域を元気にする（地域の活性化）ことにつながることを認識するきっかけとする。

一方、コロナ禍の中、無観客で「ソーラン」を行うことが、本当の活性化につながるのかということに疑問を持たせ、地域を元気にするために自分たちができることを考えさせる。

めまぐるしく変化している社会に対し、これまで当たり前のように取り組んできたことがこれからも当たり前に必要なことであるとは限らない。状況をしっかりと把握しながら、何のためにするのか、本当に必要なことは何かといった疑問を持ち、本質をつかもうとする力を身に付けさせる。

② 物事を進めていく際に、「何のために」「だれが」「いつまでに」「何を」「どのようにする」等の観点で仲間と共に意見を出し合いながらまとめるることは、目標達成に向けた取組が具体的となり、生徒の主体性を引き出す取組になりやすい。そこで、自分たちと別のグループの意見を聞く活動を取り入れることにより、自分たちの取り組みを多面的にとらえられるようにする。また、物事を取捨選択する方法として、座標軸等の思考ツールを用いて協力しながら思考を整理していくことも重要である。生徒達の漠然としたアイデアを、より具体的にさせ、分類・整理することで、空想がより現実味を帯び、さらなる主体性へとつなげる。この仲間と共に作り上げた達成感が、自尊感情を高め、集団の中での自分の役割を見いだすきっかけにつながる。

## 2 単元の目標

阿賀中に伝わる「南中ソーラン節」を通して「伝統をつなぐ」ことの意味を考え、「南中ソーラン節」に込められた思いや、先輩たちの思い、地域の方々の思いを理解するとともに、地域の活性化に向けて自分たちが伝統をつなぐためにできることを仲間と協力しながら考え、表現できるようとする。

## 3 単元の評価規準（★中学校区で育成を目指す資質・能力）

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
評価の観点 及び 評価規準	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「南中ソーラン節」が作られた背景について理解している。</li> <li>○課題解決に向けて必要なことを自ら考え、探究を自律的に進めている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○課題に気づき、その原因を把握している。</li> <li>○解決の方法や手順を考え、計画を立てている。</li> <li>○他者の意見や課題解決の方向性から必要な情報を整理し、修正意見を出したり取捨選択したりしている。</li> <li>○調べたり考えたりしたことをまとめ、相手や目的、意図に応じて表現している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分の意思で、目標をもって課題の解決に向けた探究に取り組もうとしている。</li> <li>○探究的な活動を通して、自分の生活及び地域との関わりを見直し、自分の特徴やよさを理解しようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○仲間との探究的な活動を通して、進んで実社会・実生活の問題の解決策を見つけるとしている。</li> <li>○自分から役割や仕事を見つけたり、分担したりしながら、周囲と力を合わせて行動しようとしている。</li> </ul>
育成を 目指す 資質・能力	★知識・技能	★思考力・判断力 ・表現力	★自らへの自信	★感謝・貢献 ・思いやり

#### 4 単元の計画（全50時間）

本質的な問い～地域の活性化のために私たちにできることは何だろう～							
次 時	時	学習内容	評価				
			知	思	自	感	評価規準（評価方法）
第一次 (16時間)	1	課題の設定  ・「南中ソーラン節」が家族のために冬の海でがんばる漁師の労働を表現していることを知る。	○				・「南中ソーラン節」が作られた背景について理解している。 (ワークシート)
	2 ～ 14	情報収集 整理・分析  ・「南中ソーラン節」の踊りについて調べたり、実際に踊ったりして学び合う。		○			・自分の意思で、目標をもって課題の解決に向けた探究に取り組もうとしている。 (行動観察)
	15	実行  ・体育大会で発表する。			○		・協力しながら自分の良さや仲間の良さを理解しようとしている。 (行動観察)
	16	振り返り  ・振り返りシートを記入する。				○	・周囲と力を合わせて行動しようとしたか振り返ろうとしている。 (振り返り)



	21	<b>情報収集</b>		○				・課題解決に向けて必要なことを仲間とともに考え、探究を自律的に進めている。 (行動観察)
	22	・役割ごとに、どのような体操にすればよいのか、画面構成（音響・場所等）等を考える。						・自分から役割や仕事を見つけたり、分担したりしながら、周囲と力を合わせて行動しようとしている。 (行動観察)
	23 ～ 29	<b>創造・表現</b> <b>実行</b>	・それぞれ実行に移す。		○			

課題：DVDって、ホントにそれでいいの？～よりよいものにするための意見を出し合おう～

第三次 (20時間)	30	<b>振り返り</b> <b>本時</b>	・作成した動画等を他者（別のグループ・ゲストティーチャー）に見てもらい、相手に応じたものになっているのかを確認する。	○			・友達の意見や、課題解決の視点に沿った情報を整理し、修正意見を出している。 (ワークシート)
	31	<b>課題の設定</b>	・アドバイスを参考によりよい動画等を作るにはどうすれば良いのか考える。	○			・他者の意見や課題解決の方向性から必要な情報を取捨選択している。 (振り返り)
	32 ～ 46	<b>整理・分析</b>	・アドバイスを参考に改善した取組を実行に移す。	○			・調べたり考えたりしたことまとめ、相手や目的、意図に応じて表現している。 (行動観察)
	47 ～ 49	<b>創造・表現</b> <b>実行</b>	・完成した動画等を地域の方に紹介する。	○			・探究的な活動を通して、自分の生活及び地域との関わりを見直し、自分の特徴やよさを理解しようとしている。 (成果物)
	50	<b>振り返り</b>	・振り返りシートを記入する。		○		・仲間との探究的な活動を通して、進んで実社会・実生活の問題の解決策を見つけようとしている。 (振り返り)

## 5 本時の展開

### (1) 本時の目標

作成した動画を多面的にとらえ直し、よりよいものにするために修正意見を出すことができる。【資質・能力／思考力・判断力・表現力】

### (2) 本時の展開

	学習活動 ○発問 ◎中心発問 ・予想される生徒の反応	◇指導上の留意点	評価規準 (評価方法) 【資質・能力】
導入	<p>1 DVD作成の目的を確認する。</p> <p>○ なぜ、DVDを作成したの？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「南中ソーラン節」を体操にすることにより、コロナ禍の運動不足を解消してもらいたい。</li> <li>・日常的にこの音楽を耳にすることで、体育大会の時の阿賀中生徒を思い出してもらい、元気になってもらうため。</li> </ul>	<p>◇地域の人たちにとって「南中ソーラン節」とはどんな存在かを押さえる。</p> <p>「南中ソーラン節」は、阿賀中を思い出してもらえるもの</p> <p>◇なぜ、阿賀中を思い出してもらう必要があるかを押さえれる。</p> <p>「南中ソーラン節」を踊る阿賀中の生徒を見ることが、地域の人たちの元気につながっているから</p>	

課題：DVDって、ホントにそれでいいの？～よりよいものにするための意見を出し合おう～

展開	<p>2 2グループごとの作成意図を確認後、視聴する。</p> <p>○ 「誰に」に対して「何の目的で」作成されたのだろう。</p> <p>3 質疑・応答をする。</p> <p>4 修正意見を出し合う。</p> <p>◎ 目的に向けてよりよくするためには、どんな所を修正すればよいだろう。</p> <p>5 取捨選択した結果、修正意見を発表し合う。</p>	<p>◇本質的な問い合わせに立ち返らせる。 (視聴前に「誰に」「何の目的で」の視点を発表させる。)</p> <p>◇話し合いの目的や話し合う手順を明確に示す。</p> <p>◇修正する根拠を明確に示せる。</p> <p>◇採用する根拠を明確に示せる。</p>	友達の意見や、課題解決の視点に沿った情報を整理し、修正意見を出している。 (ワークシート) 【思】
	6 本時のまとめ、振り返りを行う。		
	○ 話し合いを通して、気付いたことや考えたことを伝えよう。		
	<p>まとめ：目的をはっきり持って話し合ったので、話し合いがそれなかった。 伝え方に悩んでいたので、先に言ってくれた班長の意見の言い方が参考になった。 振り返り：～さんの意見で、～という別の見方に気付き、～に修正しようと思った。</p>		

## 6 単元を終えて

### ア 「本質的な問い合わせ」を生かした単元構想の工夫

これまで当たり前のように行ってきた阿賀中のソーランだが、昨年、今年と制限された中での発表となった。

- ① 伝統的に行っているソーランから、社会で通用する資質・能力につなげるよう見直しをした。
- ② 阿賀中ソーランには、どんな意味があるのかを問い合わせることにより、本質的な問い合わせにつなげ、自分たちにできることを考え、生徒がよりよい解決を目指して行動できるよう学びのサイクルを意識して計画した。
- ③ 発信・発表の場や相手の工夫をした。

### イ 成果と課題

成果	成果につながった しきけ	さらに良くするには
<p><b>主体的に学習に取り組む態度</b> (自らへの自信)</p> <p>○自分の意思で、目標をもって課題の解決に向けた探究に取り組もうとしている。</p> <p>生徒の受け身的な行動より積極的・主体的な発言・行動が多く見られるようになった。(行動観察)</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・小グループでのタブレットを使って自分たちを客観的にみる場面や仲間からの評価を交流する場面を設定したこと。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・単元の中で計画的に他者(いろいろな立場の方)からの評価の交流を設定する。</li></ul>
<p><b>知識・技能</b></p> <p>○課題解決に向けて必要なことを自ら考え、探究を自律的に進めている。</p> <p>1/3の生徒は相手意識や目的意識、自分が考えたことややるべきことを具体的に考えることができた。(振り返りシート)</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・最初に目標に対して自分がどこまでできるかという予想を記述させたこと。</li><li>・生徒の実態に合った目標を立てたこと。</li><li>・別のグループからの視点で意見交流を行ったこと。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・グループ分けをする前にあらかじめ、目的達成のために取り組みたいことを言葉にさせておく。</li><li>・より相手意識をもたせるために、ゲストティーチャーとして関係者と関わる場面を持たせる。</li></ul>

#### 【生徒の振り返りの記述】

「相手チームの動画を見て、幼稚園児はどのようにしたらひかれる踊りになるか、演出やうしろの背景について考えられた。もっと良いアイデアがうかぶように話し合って想像力を広めたい。」

主体的に学習に取り組む態度 (感謝・貢献・思いやり) ○仲間との探究的な活動を通して、進んで実社会・実生活の問題の解決策を見つけようとしている。  生徒が総合的な学習の時間を重ねるごとに、相手意識を持った内容に変わるなど、見方が豊かになった。(振り返りシート)	・目標と照らし合わせた振り返りの習慣化。	・「なぜ?」「それでいいの?」をくり返して本質的な問い合わせる。 ・振り返りの内容を検討する。
--	----------------------	--

【生徒の振り返りの記述の変容】生徒A

1回目の記述 「割と編集の提案ができた。」



2回目の記述 「質問が伝わっていないことに気付いた。」

【生徒の振り返りの記述の変容】生徒B

1回目の記述 「みんなと一緒に考えることができた。」



2回目の記述 「改善したことにより、分かりにくくなつたので次にどうするかをみんなで考えられた。」

課題	原因	改善策
思考・判断・表現 ○調べたり考えたりしたことをまとめ、相手や目的、意図に応じて表現している。  振り返りにおいて、2/3の生徒は、その生徒なりの変化を感じとれるものの、表現の未熟さ、語彙力のなさから自分の感じたこと、考えたことを表現しきれていない。(振り返りシート)	・表現の未熟さや語彙力を補う支援を行うことができなかつた。	・振り返りの時間だけでなく、作業や話し合い等でも机間指導を行い、生徒が感じたこと、考えたこと等の思考の変化を言葉で表現できるよう支援する。

【生徒の振り返りの記述】

・「自分の意見を出せた。」

・「発見がたくさんあった。」

・「質問を考えることができた。」

・「間違いがすごくたくさんある。」

振り返りがあまり記述できていない授業があった。	・目標設定や時間配分が生徒の実態、進歩状況に合つていなかつた。	・教師がしっかりとした見通しと進捗状況を確認・把握する。
-------------------------	---------------------------------	------------------------------